

受賞者

福井県科学学術大賞

- (1) 受賞者名 田中 多加志 (たなか たかし) [日華化学(株)界面科学研究所商品開発研究部機能化学品開発グループ 主席]
豊原 治彦 (とよはら はるひこ) [日華化学(株)スペシャリティケミカル事業部スペシャリティ・マテリアル部次長]
中島 順市 (なかじま じゅんいち) [日華化学(株)界面科学研究所商品開発研究部機能化学品開発グループ サブリーダー]
- (2) 業績名 触媒技術による環境対応製品の開発
－「キャタライザー型脱墨剤」の触媒技術の応用－
- (3) 業績概要 近年増加している紫外線硬化型インク印刷物は、古紙リサイクルの工程で剥がれたインクが除去できず、塵となって製品中に残り問題となっていました。長年、業界では課題と認識されつつも対応ができていませんでしたが、福井発・世界初の技術である「キャタライザー脱墨剤」を開発し、処理が難しい紫外線硬化型インクを触媒により目視できないほど分解、古紙から除去することを可能としました。これにより、古紙リサイクル率が向上するとともに、後工程で用いられる漂白剤を減らし、二酸化炭素排出削減を実現しました。
さらに、開発した触媒技術を様々な用途に展開し、古紙に含まれる本の背糊や郵送伝票などの接着剤による再生紙の汚れ・塵（ピッチ）を低減する「ピッチコントロール剤」をはじめとした6つの環境対応製品を開発しました。
- (4)表彰内容 表彰状、賞金100万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞特別賞

- (1)受賞者名 鈴木 誠一 (すすき せいいち) [アイテック(株)ソーワイヤ事業部 部長]
小泉 将治 (こいずみ まさはる) [アイテック(株)新事業開発本部 課長]
木津 啓一郎 (きづ けいいちろう) [アイテック(株)新事業開発本部 社員]
徳橋 雅治 (とくはし まさはる) [アイテック(株)ソーワイヤ事業部 課長]
門口 幸弘 (もんぐち ゆきひろ) [アイテック(株)ソーワイヤ事業部 社員]
内田 優一 (うちだ ゆういち) [アイテック(株)表面処理事業部 課長]
高原 和代 (たかはら かずよ) [アイテック(株)ソーワイヤ事業部 社員]
竹内 久弘 (たけうち ひさひろ) [アイテック(株)新事業開発本部 社員]
福島 悠太 (ふくしま ゆうた) [アイテック(株)ソーワイヤ事業部 社員]
加藤 洋樹 (かとう ひろき) [アイテック(株)ソーワイヤ事業部 社員]
- (2)業績名 ソーワイヤ（電着ダイヤモンドワイヤ）の開発と事業展開
- (3)業績概要 半導体ウェハをシリコン等の塊から切り出す工程で用いられるダイヤモンドワイヤについて、これまでの眼鏡フレーム等で培っためっき技術を活かし、他の工具メーカーでは開発困難な、ワイヤ表面に均一にダイヤモンド砥粒を分散させる「ダイヤモンド砥粒の分散技術」とこの技術を用いたダイヤモンドワイヤを開発することに成功しました。開発したソーワイヤは、従来製品に比べ品質も良く、製造コストも安価であり、将来の高機能半導体にも展開が期待されます。
- (4)表彰内容 表彰状、賞金50万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞若手科学学術賞

- (1)受賞者名 福野 泰介 (ふくの たいすけ) [(株)jig.jp 取締役会長]
- (2)業績名 「こどもパソコン IchigoJam」
- (3)業績概要 こどもたちが楽しくプログラミングを体験でき、1,500 円で買えるパソコン「IchigoJam」を開発しました。一から開発した数少ない日本産 OS で、テレビとキーボードさえ接続すれば、簡単かつ本格的なプログラミングに取り組むことができます。小学校におけるプログラミング教育の必修化に伴い、鯖江市では 1 年前倒しの 2019 年から市内全 12 校で使用され、さらに、鯖江モデルとして福島県磐梯町など、他地域での展開も始まっています。2017 年から毎年開催している「越前がにロボコン」向けの基本キットとしても活躍しています。
- (4)表彰内容 表彰状、賞金 30 万円、記念品を贈呈

福井県科学学術大賞若手科学学術賞

- (1) 受賞者名 柏山 祐一郎 (かしま ゆういちろう) [福井工業大学環境情報学部
環境食品応用化学科教授]
- (2) 業績名 「真核生物に普遍的なクロロフィルの無毒化の発見とその研究」
- (3)業績概要 光合成に不可欠なクロロフィルが有する光毒性(光合成タンパク質による制御を失うと、光のエネルギーにより強い毒性をもつ活性酸素を発生させる性質)について、海洋や湖沼中で生産されるクロロフィルが、微生物により「無毒化」される普遍的なしくみを発見しました。また、この「無毒化」代謝が、多様な真核生物のほぼ全ての系統に広く存在していることを明らかにしました。さらに、現在の多様性の起源となった祖先的な真核生物の段階(10 億年から 18 億年前に存在)において、既に、クロロフィルを含有する光合成生物を「安全に食べる仕組み」が確立していた可能性を示しました。
- (4)表彰内容 表彰状、賞金 30 万円、記念品を贈呈

(参考)

【 表彰式 】

- 1 日 時 令和 3 年 2 月 7 日 (日) 13 時 30 分から
- 2 場 所 福井県県民ホール (AOSSA 8 階)
(「ふるさとの日」記念表彰式にて表彰します。)
- 3 表彰内容 表彰状、賞金、記念品を贈呈

※表彰式終了後、14 時 30 分から福井県県民ホール (AOSSA 8 階) 楽屋 3、4 において受賞者の記者会見を予定しています。

福井県科学学術大賞の概要

事業概要

福井県内において科学技術の開発または学術研究に携わり、本県の発展に大きく貢献したと認められる方を顕彰することを目的とした表彰制度です。

この賞は、県内の篤志家からの寄附金を原資として授与されるもので、“本県版のミニ・ノーベル賞”として位置付けられ、「物理」、「化学」、「生物」、「医学・生理学」、「経済」の5分野での業績が対象となります。

表彰の対象

福井県内において、物理、化学、生物、医学・生理学、経済の分野で特に顕著な功績を挙げ、産業の振興、地域の活性化その他住民の福祉の向上に貢献したと認められる個人またはグループ（若手科学学術賞は概ね45歳未満の個人または主たる研究者が概ね45歳未満のグループ）の業績が対象となります。

表彰の内容

福井県科学学術大賞	表彰状、賞金100万円、記念品を贈呈
福井県科学学術大賞特別賞	表彰状、賞金50万円、記念品を贈呈
福井県科学学術大賞若手科学学術賞	表彰状、賞金30万円、記念品を贈呈

募集の方法

一般公募とし、応募方法は所属する団体等からの推薦または本人からの応募とします。

受賞者の選考

応募のあった方を対象に、福井県科学学術大賞選考委員会で受賞候補者を選考し、知事が受賞者を決定します。

福井県科学学術大賞選考委員

専門分野	委員名	所属役職等
物理	委員 長谷川 洋作	財団法人未来工学研究所 前所長
化学	委員 奥山 喜久夫	広島大学 名誉教授
生物	委員 斎藤 成也	国立遺伝学研究所 教授
医学・生理学	委員 木村 吉延	福井大学 名誉教授
経済	委員 武藤 昌三	シンフォニアテクノロジー株式会社 代表取締役会長